

まちを象徴?

アートな道路と橋 シリーズ

おやばら
親柱とは…

橋の欄干の端にある柱。川側に立つ太い柱を「親柱」、陸側に立つ小さな柱を「控柱」といいます。

親柱には地域の特色を表現しようと、動植物や特産品などユニークなモニュメントが配置されているものもあります。



鷺一家が暮らす橋

鷺山橋 (北区)

見沼グリーンセンター付近、市民の森通りが芝川をまたぐこの橋の親柱には、ひときわ目立つ巨大な鳥のモニュメントが…! たくましく羽ばたく父鷺、雛を見守る母鷺の、鷺一家です。この橋の左岸にある鷺神社にちなんだものだそうです。



夜に浮かび上がるシェイクスピア

たつみ通り (中央区)

彩の国さいたま芸術劇場がある「たつみ通り」の歩道をよく見ると、シェイクスピア戯曲の名台詞がいくつも埋め込まれています。暗くなるとLED照明で絵や台詞が美しく浮かび上がります。夕暮れに思慮にふけりながら、アートな散歩なんて、いかがですか?



お人形さんが見守っています!

新曲輪橋 (岩槻区) 読者モニター ▶▶ 青木 輝美さんより

1回見ると、忘れられないお人形さん。以前から、この橋を通るたびに3歳の息子と気になっています。4体もあるので、ここを通る誰もが、1度はこのお人形さんを見ているはず。岩槻は人形のまちとして知られているのでお人形を飾っているのだと思いますが…。「新曲輪橋」という名前も、珍しい。



おもしろオブジェ シリーズ

笛吹く少年がビルの壁面に

ラムザタワー周辺 (南区) 読者モニター ▶▶ 植木 秀視さんより

ビルを見上げると、笛を吹く少年像が壁面を歩いている、今にも落ちてきそう…! 武蔵浦和駅のラムザタワー周辺には、いろいろな童話を表現したオブジェが配置されて

います。これはたしか、「赤ずきんちゃん」のオオカミ、これは「オズの魔法使い」のブリキのきこり、さらに「3匹のこぶた」…と、全体が1つのテーマで作られていて、大変見ごたえがあります。また、駅からのペDESTリアンデッキの足元にも童話をモチーフにしたタイルが十数種類も描かれていて、ゲーム感覚で題名の当てっこもできそうです。



買っていきなすれー
安いよー



野菜売りの女性像

市場通り (浦和区)

中山道から常盤公園に向かう道「市場通り」の入口に、突如現れる「野菜売り」の女性像。戦国時代から昭和の始めまで、ここ中山道浦和宿では、毎月2と7の日には市が開かれ、農産物や各種の生活必需品が取引されてとても賑わっていたそうです。まちの歴史をしのぶ、オブジェなのですね。

なんでここに?! シリーズ

大きな木

ステラタウン (北区)

読者モニター ▶▶ 桂田 馨さんより

ステラタウンは2004年にオープンした新しい大型商業施設です。イーストゲートには通称「ステラツリー」と呼ばれるメタセコイアの巨木が空へと伸びています。新しい施設になぜこんな大きな木が? この木は以前この場所にあった富士重工業旧大宮製作所の時代から、ずっと植えられていたとのこと。保存樹木としてそのまま残され、秋の紅葉やクリスマスのライトアップなど、今も人々を楽しませているのです。



実はスケール大きいぞ!! シリーズ

山と山を結ぶ緑の軸

きたまちしましま公園 (北区)

ステラタウンの目の前に広がるきたまちしましま公園は2種類の芝生でできた大きなしましまが特徴です。この公園はちょうど富士山と筑波山を結んだ直線状に位置しており、実はしましまの方角はそれぞれの山の方向を示しているのです。そのほか、子どもに人気の1時間ごとに地面から水が噴き出る「水の劇場」(冬期はお休み) やユニークな形の「座のオブジェ」などがある、家族で楽しめる公園です。



芝のしま模様は、2つの山を結んだ方向と一致しています。

この地下に実は…!!



グラウンドの下に巨大な空間?

桜木4丁目南公園 (大宮区)

広々としたグラウンドと、おもしろそうな遊具のある公園。実はこの地下には、巨大な地下空間があるのです。中に入ると、頑丈な柱が天井を支えている巨大なバルテノン神殿のよう! ここは、鴻沼川の氾濫を抑えるために平成18年につくられた「桜木調整池」です。

私たちのまちには、よく見てみると「なぜこんなものが?」と思うものがけっこうあるのです。実は昔からのいわれがあるもの、まちの特徴を表しているもの…そんなおもしろスポットを、読者モニターさんにも協力していただき、集めてみました!



おもしろまち探訪

